

マンション管理人

A: マンション管理人, B: マダム風の女

A よーし。今日は戦うぞ。(呼び鈴を鳴らす)

B はーい！(ドアを開けて)あら管理人さん。こんにちは。何かご用かしら？

A どうも。お忙しいところすみません。実はちょっとお話が...

B (後方に大声で)静かになさいパトラッシュ！...失礼。それで？

A (大声に怯んでいたが)あ、あのですね、ペットは規則で禁止されてますからご協力お願いしま  
すって、先日も言いましたよね？

B ええ、確かにそんなこともありましたわね。でも当家にペットなんて居なくてよ。

A 今、パトラッシュって言ったじゃないですか？犬はペットなんですよ。ご存知でしょうけど。

B パトラッシュは息子の名前です。当家に犬なんておりませんわよ。カバならおりますけど。

A カバ？

B ええ。

A パトラッシュもカバ？

B もちろんです。

A そうすると、お宅の息子さんはカバということになっちゃいますよ。

B (明らかにハツとしたが開き直って)うちは全員カバなんですの！

A なんだそりゃ！

B 私も夫も息子もカバなんですの。だから飼ってるのではなく、住んでるの。お分かり？

A いやいやいや。その理屈で契約が守られてることになっちゃったら、もはや世界の秩序が崩  
壊するでしょ。

B カバにだって居住権はあるでしょ？

A ねえよ、そんなもん！動物園にもねえわ！

B 賃貸契約書にそんな事書いてないじゃないの！

A カバの居住はお断りなんて書いてある契約書、むしろ見てみたいわ！

B そこまで言うなら教えてあげるわ！このマンションの居住者はほとんどがカバなのよ！知らないのはあなただけなのよ！

A 強制退去になりますよ！

B おどすのね？上等だわ。訴えてやる！

A いいですよ、訴え返しますから！

B ああ、嫌だ！口の減らない男！こうなったらこのマンションごとアマゾンの沼に沈めてやるわ！

A おどしのスケールでか過ぎだろ！もういいわ！